

「ERAB」

ERAB: エネルギー・リソース・アグリゲーション・ビジネス
(Energy Resource Aggregation Business)

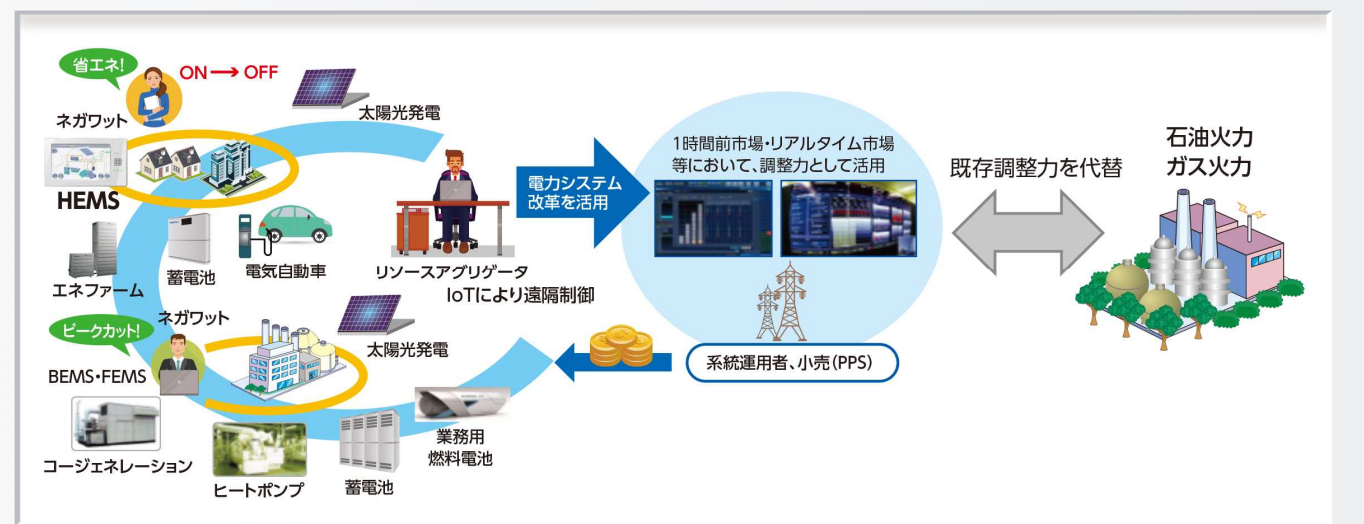
関連用語

- VPP
- DR

地理的に分散して存在する、太陽光発電、燃料電池、蓄電池などの“エネルギー・リソース”を通信技術により集約し、系統運用者の調整力をはじめ、需要家のエネルギーコスト削減、再生可能エネルギーの出力抑制回避などの様々な価値を提供するビジネス。“エネルギー・リソース”としては、創エネ・蓄エネ機器に加え、DRで活用可能な省エネ能力も含まれます。

※「ERABに関するガイドライン
(2020年6月改訂)」における定義

VPPやDRを用いて、一般送配電事業者・小売電気事業者・需要家・再生可能エネルギー発電事業者といった取引先に対し、調整力・供給力・インバランス回避・電力料金削減・出力抑制回避等の各種サービスを提供する事業のこと



出典: 第1回ERAB検討会資料(経済産業省)をもとに作成

【ERAB検討会】

2015年11月の“未来投資に向けた官民対話”において、『ネガワット取引市場』を2017年までに創設することや、2016年度中に、事業者間の取引ルールを策定し、エネルギー機器を遠隔制御するための通信規格を整備することなどが総理指示として出されました。これを受けて、2016年1月に、再エネ、省エネ、電力システム、情報通信など部局横断的に存在する様々な課題を整理・総合的に議論するためのプラットフォームを構築し、アグリゲーションビジネスの全体方針を策定するとともに当該ビジネスの発展を支援することを目的として、経済産業省資源エネルギー庁によりERAB検討会が設置されました。